

みずほCustomer Desk Report 2023/07/03 号 (As of 2023/06/30)

市場営業部 為替営業第二チーム

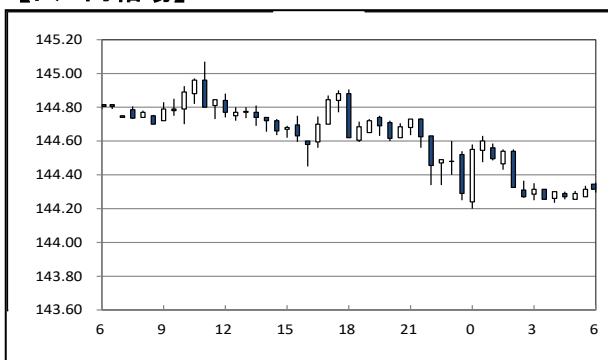
【昨日の市況概要】				公示仲値	144.99
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	144.79	1.0868	157.37	1.2614	0.6618
SYD-NY High	145.07	1.0931	157.87	1.2727	0.6671
SYD-NY Low	144.20	1.0836	156.79	1.2600	0.6604
NY 5:00 PM	144.32	1.0909	157.48	1.2692	0.6661
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	34,407.60	285.18	日本2年債	▲0.0700%	0.0100%
NASDAQ	13,787.92	196.59	日本10年債	0.3900%	0.0100%
S&P	4,450.38	53.94	米国2年債	4.9017%	0.0393%
日経平均	33,189.04	▲ 45.10	米国5年債	4.1565%	0.0274%
TOPIX	2,288.60	▲ 7.65	米国10年債	3.8396%	▲0.0007%
シカゴ日経先物	33,500.00	260.00	独10年債	2.3885%	▲0.0240%
ロンドンFT	7,531.53	59.84	英10年債	4.3825%	0.0060%
DAX	16,147.90	201.18	豪10年債	4.0020%	0.0890%
ハンセン指数	18,916.43	▲ 17.93	USDJPY 1M Vol	10.66%	▲0.25%
上海総合	3,202.06	19.68	USDJPY 3M Vol	10.35%	▲0.24%
NY金	1,929.40	11.50	USDJPY 6M Vol	10.23%	▲0.06%
WTI	70.64	0.78	USDJPY 1M 25RR	▲1.25%	Yen Call Over
CRB指数	261.99	2.92	EURJPY 3M Vol	9.95%	▲0.24%
ドルインデックス	102.91	▲ 0.43	EURJPY 6M Vol	9.95%	▲0.10%

東京	東京時間のドル円は144.79レベルでオープン。五・十日の実需の買いフローもあってかじりじりと上昇。仲値通過後しばらくすると145円を突破し、145.07まで高値を更新。ただ節目であるその水準では押し返されると、終盤にかけては四半期末の売りフローも強く、144円台後半まで下落。その後は上値の重い推移が続き、144.63レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、144.63レベルでオープン。午後に米5月PCEデフレーターを発表を控え、方向感なく推移。一時、米金利の上昇を背景に144.90まで買われた後、結局144.73レベルでNYに渡った。ユーロドルは、1.0859レベルでオープン。ユーロ圏6月コアCPI速報値の発表を前に1.0836まで売られる。その後、予想を下回る結果が発表されると、もみ合った後に反発し、結局1.0854レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は144円台後半でスタート。月末、期末フローに絡む買いが先行し、心理的節目の145円台を付けるも、為替介入への警戒感から長くは続かず。その後は方向感乏しい推移が続き、144.73レベルでNYオープン。朝方に発表された米PCEコアデフレーター(前月比)は予想通りの数字となったものの、同時に発表された米5月個人支出(前月比)が予想を下回り、米景気減速が懸念され、ドル売りが優勢となり、144円台半ばまで下落。続いて発表された米6月ミシガン大学消費者マインド(確報値)が上方修正されるも、5-10年期待インフレ率(確報値)が予想通りの結果となったことから、ドル円への影響は限定的で、144.20まで下げ幅を広げる。その後144.60付近まで反発する場面も見られたが、米金利低下を受け、再び下落する。午後は週末を控える中、144.30付近での小動きが続き、144.32レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは1.08台半ばでスタート。独6月失業者数が予想より大幅に悪化する内容を受け、1.08台前半まで売られるも、その後小幅反発し、1.0854レベルでNYオープン。オープン直後は欧州株式市場が堅調な展開を背景に、底堅く推移。その後発表された冴えない米経済指標の内容も支えとなり、1.0931まで上昇する。午後は1.09台前半を中心とした推移が続き、週末ムードから次第に動意乏しくなり、1.0909レベルでクロス。

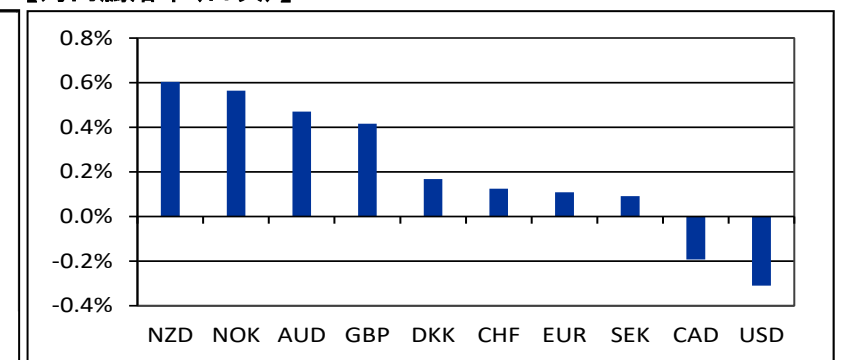
【昨日の指標等】							
Date		Time		Event		結果	予想
6月30日	08:30	日	東京(CPI/コアCPI/コアコアCPI)	6月	3.1%/3.2%/3.8%	3.4%/3.4%/4.0%	
	10:30	中	製造業PMI	6月	49.0	49.0	
	10:30	中	非製造業PMI	6月	53.2	53.5	
	15:00	独	小売売上高(前月比)	5月	0.4%	0.0%	
	15:45	仏	CPI(前月比/前年比)・速報	6月	0.2%/4.5%	0.2%/4.6%	
	18:00	欧	CPI(前月比/前年比)・速報	6月	0.3%/5.5%	0.3%/5.6%	
	18:00	欧	失業率	5月	6.5%	6.5%	
	21:30	米	PCEコアデフレーター(前月比/前年比)	5月	0.3%/4.6%	0.3%/4.7%	
	23:00	米	ミシガン大学消費者マインド・確報	6月	64.4	63.9	

【本日の予定】						
Date	Time		Event		予想	前回
7月3日	08:50	日	日銀短観	2Q	-	-
	10:45	中	Caixin中国製造業PMI	6月	50.0	50.9
	23:00	米	ISM製造業景況指数	6月	47.2	46.9

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	144.00-145.00	1.0850-1.0950	156.50-158.50

【マーケット・インプレッション】

先週金曜日のドル円は144.79レベルでオープン。五・十日の実需の買いフローもあってか仲値後に145.07まで上昇。ただ、節目もあってその水準では勢い続かず144円台後半まで値を戻した。海外時間には米5月PCEコアデフレーター(前年比)や米5月個人支出(前月比)が市場予想を下回ったことを受け、ドル売りが優勢となるとドル円も下落。その後も144円台前半での推移となると144.32レベルでクロースした。
本日のドル円は底堅い推移を予想する。本日は米6月ISM製造業景況指数の発表を控える。先週の米経済指標の結果強含みにリセッション懸念が後退する中、本日も結果次第ではドル買いが強まるだろう。大きく円売りが続いた6月が終わったものの、地合いは変わらないと想定されドル円の底堅さは維持されると予想する。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 松木・松木